

学校だより 3月号



# 寺尾小だより

3月

〈学校教育目標〉「自ら進んで 学ぶ子 仲よくする子 きたえる子」

〈3月の生活目標〉「学校をきれいにしよう」

川越市寺尾979-2 TEL 049-245-9555 FAX 049-240-1765

川越市立寺尾小学校  
令和5年2月28日(火)

## “残り姿”という言葉から

校長 長澤 誠

令和4年度の学校生活もいよいよ残り1ヶ月となりました。春の兆しがあちこちに見られるようになり、校庭の梅が花を咲かせ始めました。桜の芽もふくらみ始めています。

過日の「なかよしカーニバル」では、子供達の楽しむ様子の中から成長を感じられたのではないのでしょうか。また、授業参観・保護者会にも多くの皆様方にご参加いただきありがとうございました。子供達の成長を教師と共に確認し合った場となったことと感じています。学習ノートやドリル、作品等を話題にしながら1年間の成長の様子を認め、励まして、次のステップへ進む意欲を膨らませていただきたいと思います。



咲き始めた梅 2.22 撮影

さて、今月は「残り姿」と言う話題です。「残り姿」とは「終わったあとの姿」「その場からいなくなったあとの姿」を感じることを言います。「その場にいた人々の心が想像できる、気持ちの良い姿」のこととして用いられます。

学校では、下校後の教室や昇降口で日々感じるすることができます。下校後の教室で、窓が締め切り机やイスが整頓され、黒板がきれいに掃除されている状況を見ると「今日もしっかりと学校生活を過ごして、学習ができたのだろうな」と想像できます（逆に心配になる時もありますが・・・）。

このような「日々の残り姿」のほかに、もっと「深くて大きい残り姿」を感じることもあります。それは、3月の卒業式や修了式が終わった後の学校の中です。掲示物が外され、荷物もなく掃除が行き届いた教室。スッキリとした誰もいない机とイスだけの空間ですが、そこへ足を踏み入ると、一年間、共に学び生活してきた「深くて大きい残り姿」を感じます。担任の先生ならば、ひと際大きく感じることでしょう。一年間に起こった様々な出来事、あの時の「笑顔」あの時の「涙」あの時の「感動」……。次の学年の子供達を待つ「何もない教室」ですが、そこには「今生活している子供達の残り姿」が残るのです。更に言うと、「もっと大きい残り姿」もあります。卒業して10年後や20年後などに学校を訪れると、きっと「残り姿」を「思い出」として感じるができると思います。

子供達一人一人の毎日の「残り姿」が積み重なり「学校の校風」となり「伝統」になっていきます。どのような「残り姿」を残すことができるか？一年間の締めくくりの時期にこそ、自分自身を振り返り、学年のまとめをしてほしいと思います。

ウィズ・コロナとして、取り組んできた今年度でした。目指す学校像「おらが寺尾の小学校」については、いかがだったのでしょうか。「チーム寺尾小」として、教職員一人一人が、令和4年度を「有終の美」とするために、児童と向き合い・寄り添いながら充実した学校生活にしていまいます。引き続き、ご支援・ご協力をお願いいたします。